

水土里ネットの和

発行：水土里ネット和歌山（和歌山県土連） 和歌山市雑賀屋町 1 番地

会長：二階俊博 TEL：073-432-2567 FAX：073-433-1490



世界かんがい施設遺産 龍之渡井（小田井土地改良区）

主な内容（CONTENTS）

○新年度のご挨拶（中山副会長）	2
○ご挨拶（農林水産部長）	3
○第 66 回和歌山県土地改良事業団体連合会の通常総会	4
○全国土地改良功労者表彰	5
○令和 5 年度第 3 回監事会及び理事会の開催について	5
○令和 5 年度補正、令和 6 年度当初予算の成立	6
○能登半島地震への職員派遣報告	7
○水土里ネット和歌山からのお知らせ	8



新年度にあたって

水土里ネット和歌山
和歌山県土地改良事業団体連合会
副会長 中山 正 隆

令和6年の新年度を迎え、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。

本年1月1日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、石川県を中心に大きな被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災された方々への支援金の募集に多くの会員の皆様のご協力を頂きました。改めて御礼申し上げます。

3月23日に開催いたしました第66回和歌山県土地改良事業団体連合会の通常総会は、すべての議案について皆様の承認を頂きありがとうございました。

土地改良事業の予算に関しましては二階会長をはじめ関係の皆様のご尽力により、令和6年度は補正予算を併せ6,240億円と十分な予算が確保されております。特に、国土強靱化対策として、ため池対策は喫緊の課題となっております。令和6年度より豪雨対策を優先的に進める段階的整備が事業主体の判断で可能となりました。当県の1956カ所の防災重点農業用ため池の整備を加速化することが出来るのではと期待しています。当会においても県が設置したため池サポートセンター業務の受託や各会員からのため池整備計画策定等の調査業務の受託により、ため池対策の推進に協力して参ります。

さて、来年7月には第27回参議院議員選挙が予定されております。全国比例には、総会でご祝辞をいただきました全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎議員が出馬すると伺っております。今年度は会員の皆様と共に土地改良区の現状などをお伝えし、私たちの代表として引き続き国政の場で活躍して頂けるよう支援していきたいと思っております。会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

農業は、国を支える重要な産業です。本県農業の安定的な持続のため、土地改良施設を適正に維持管理していくことは私たちの重要な使命です。

さらに会長からお話があったように、将来に渡り施設を適正に維持管理していくため、その施設の役割を若い世代へ伝えていくことも今後の重要な使命と位置づけ取り組んで参りますのでより一層のご支援を賜りますよう御願い申し上げ、新年度のご挨拶と致します。

ご挨拶



和歌山県農林水産部
部長 立石 修

令和6年4月1日の人事異動により、和歌山県農林水産部長を拝命しました立石 修でございます。平素より土地改良区や市町村の皆様方には、円滑な土地改良事業の推進にご尽力いただき、また、本県の農業農村の振興について、多大なるご支援・ご協力を賜りますことに厚くお礼申し上げます。

本県では、農業の振興策として、安全・安心で機能性を備えた農畜産物の安定供給、生産性の向上、農業経営の安定化、国内外に向けた販路開拓・販売促進、他分野との連携による農業の多面的な発展の5つの政策を掲げ推進しているところです。

その中でも、土地改良事業関係においては、中山間地域における生産基盤整備や農業水利施設の長寿命化対策として、ほ場や農道の整備、水路などの既存施設の更新を推進するとともに、営農の省力化、低コスト化や担い手への農地の集積・集約にも積極的に取り組んでいます。

また、昨年6月2日には、台風2号の影響を受けた線状降水帯の豪雨により県内各地の農地・農業用施設に甚大な被害が発生し、現在は、早期の復旧に向け取り組んでいただいているところですが、近年のゲリラ豪雨や近い将来起こるとされている東南海・南海地震などへの備えとして、排水機場整備などの内水対策やため池の改修・廃止による安全度向上に取り組むとともに、ため池の保全や管理に関する支援を行うなど農村地域の防災・減災対策を推進しています。

会員の皆様方には、農産物の安定供給・生産性の向上、さらに豊かな農村環境の維持にかかすことの出来ない土地改良施設の整備・管理に関しまして、引き続きご協力を賜りますとともに、今後、益々のご活躍、ご発展を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

第 6 6 回和歌山県土地改良事業団体連合会通常総会

令和 6 年 3 月 2 3 日(土)、15 時からホテルグランヴィア和歌山にて、和歌山県土地改良事業団体連合会の第 6 6 回通常総会が開催されました。

山本和歌山県農林水産部長を始め、安東近畿農政局長、佐藤和歌山平野農地防災事業所長、宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問(参議院議員)、堀県議会農林水産振興議員連盟土地改良部会長、など総勢 1 1 名の来賓の方々がお越しくださいました。

総会では、議長に小田井土地改良区の林理事長が選任され、上程された 1 2 議案について、全会一致で会員の承認が得られました。

議案項目は、以下のとおりです。

- 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告について
- 第 2 号議案 令和 4 年度収支決算について
- 第 3 号議案 令和 4 年度財産目録について
- 第 4 号議案 令和 5 年度収支予算補正について
- 第 5 号議案 令和 6 年度事業計画について
- 第 6 号議案 令和 6 年度収支予算について
- 第 7 号議案 令和 6 年度賦課金の徴収方法及び時期について
- 第 8 号議案 令和 6 年度余裕金の預入先及び運用方法について
- 第 9 号議案 令和 6 年度一時借入金の限度並びに借入方法について
- 第 10 号議案 定款の変更について
- 第 11 号議案 令和 6 年度役員報酬について
- 第 12 号議案 役員の選任について

今回の総会では、3 月末をもって退任された横地監事に代わり、安楽川井土地改良区理事長の永長様が新監事に選任されました。

また、宮崎全国水土里ネット会長会議顧問は来賓退席後、別室において土地改良区職員等との意見交換会が開催され、土地改良区の基盤強化について活発な意見交換が行われました。



宮崎顧問と土地改良区職員との意見交換

総会終了後の懇親会には、岸本知事も参加下さいました。二階会長、鶴保会長代行は、お忙しいなか太地町から駆けつけていただき賑やかな懇親会となりました。



二階会長挨拶



鶴保会長代行挨拶

全国土地改良功労者表彰



表彰式全景



二階会長と受賞者

全国水土里ネット第66回通常総会が行われたシェーンバッハ・サボーにおいて全国土地改良事業団体連合会会長表彰の受賞式が行われ、荒見井土地改良区が団体表彰を、天野土地改良区の矢部勝己理事長、川辺町周辺土地改良区の玉置哲也事務局長が個人表彰を受賞されました。

第3回和歌山県土連 監事会・理事会の開催

3月4日(月)、令和5年度第3回監事会が、アバローム紀の国5F「フリーズ」において、第3回理事会がアバローム紀の国4F「羽衣」にて開催されました。

監事会では、監事全員が出席のもと、令和5年度収支補正予算の承認について等、2議題について審議しご意見をいただきました。



また、理事会では17名の理事のうち13名の出席のもと、県の農業農村整備課箕澤課長から令和6年度の土地改良予算の概算決定内容について情報提供いただいた後、第66回通常総会提出議案について、令和5年度補正予算についてなど11議案が審議され、すべて承認いただきました。

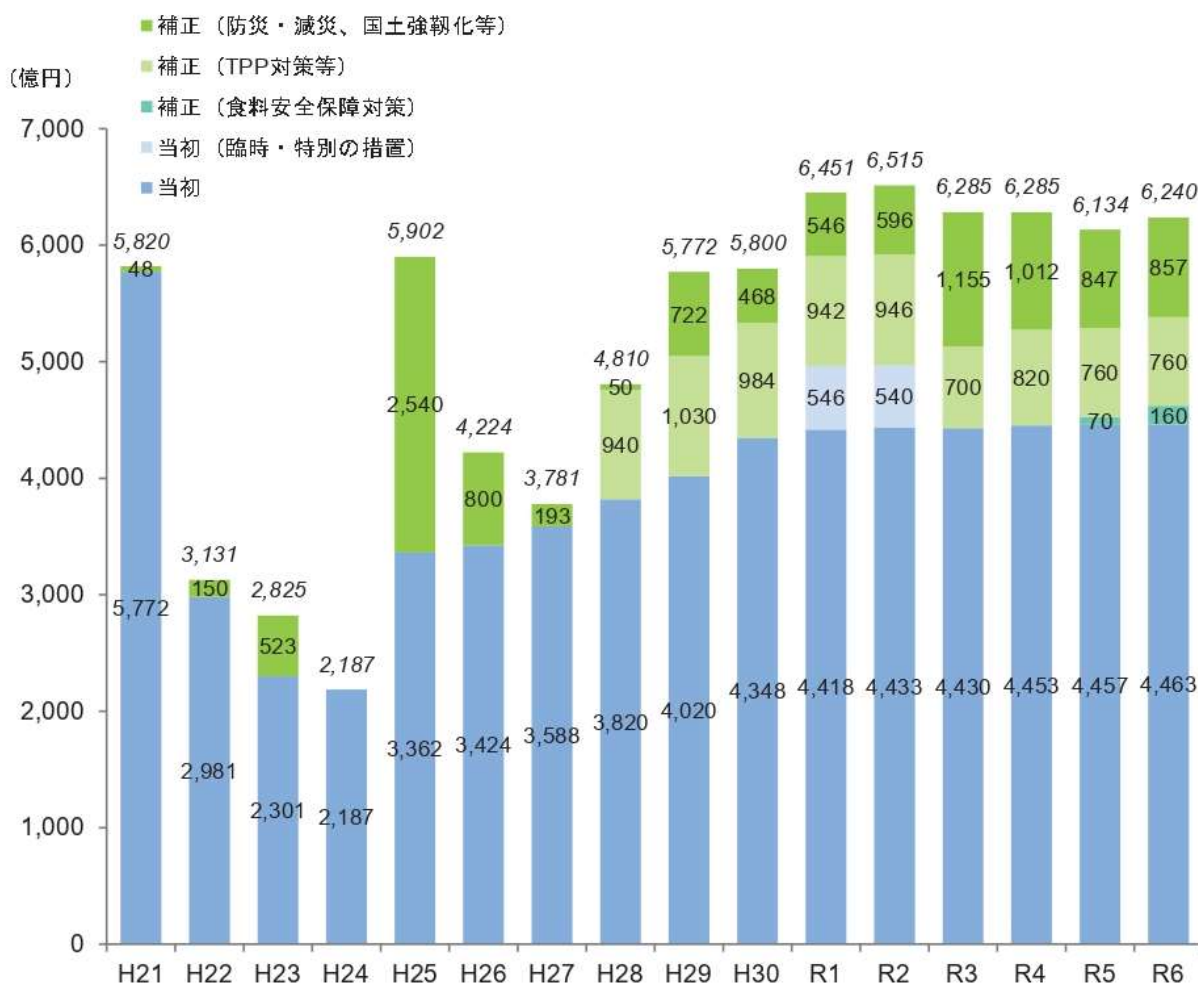
令和5年度補正、令和6年度当初予算の成立

令和6年度政府予算案は、令和6年3月28日成立しました。

農業農村整備事業関係予算は、当初予算で4,463億円(対前年度比100.1%)を確保することが出来ました。防災減災国土強靱化のための5カ年加速化対策、TPP対策及び食料安全保障対策である令和5年度の補正予算を含めると6,240億円となり昨年度の6,134億円を上回っています。

また、ため池を改修する際に豪雨対策等を他の対策に先行させて段階的に整備することを可能とすることが明確化されるなどの制度拡充が行われました。

農業農村整備事業関係予算の推移



※R4年度補正予算の防災・減災、国土強靱化等には食料安全保障対策分30億円を含む

能登半島地震への職員派遣報告

令和6年1月1日に発生しました「令和6年能登半島地震」で被災した農業集落排水施設の復旧支援のため、令和6年3月10日(日)から3月23日(土)の2週間、当連合会から職員1名を被災地に派遣しました。地震発生から2ヶ月が経過していましたが、手つかずの状態の倒壊した家屋も多く、断水が続き仮設トイレがあちこちに設置された状態でした。



石川県の農業集落排水施設は156施設あり、点検の結果6市町の72施設で被災が確認されました。集落排水施設は上水道の復旧と合わせ一刻も早い復旧が求められています。

応援は北海道から沖縄まで全国の集落排水を担当する土連職員が毎週30名程度(一班6名の5班編制)集まり、日曜日の午後に石川県土連で調査方法の説明を受け、1週間後土曜日の午前に石川土連に結果を報告しました。当会職員は七尾市、能登町に張り付き活動しました。

調査内容は、管路2次調査といわれるもので、復旧区間を確定するためにマンホール毎に管口カメラを挿入し、たわみや管への地下水、雨水の流入状況を確認し、その状況を取りまとめ報告書を作成するといった作業になります。被災により管内に汚水が溜まったままになっている箇所も多く、バキュームカーを伴いな





がらの調査となりましたが、道路の通行止め等、地域の皆さんの協力のもと計画どおりに調査を行うことが出来ました。

石川県土連に伺ったところ3月末で管路2次調査は完了し、現在は管路復旧工事設計書の作成が行われているとのことです。

当会としては、今後も可能な限り支援要請にこたえていくこととしています。復旧のノウハウを学び、今後発生が予想されている南海トラフ地震等に伴い被害が発生した場合にはスムーズな対応が出来るよう努力してまいります。



水土里ネット和歌山からのお知らせ

土地改良区 会員情報

○新しい土地改良区理事長を紹介します。

美浜町土地改良区	田口 則男 (R5.7.10 就任)
藤崎井土地改良区	林 久晴 (R6.2.1 就任)
九度山町安田島土地改良区	米澤 正美 (R6.4.1 就任)
橋本市吉原土地改良区	吉田 清昭 (R6.4.1 就任)

宜しくお願いします。

【編集後記】

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震に係る被災地支援のための水土里ネット支援金」を募集したところ、多くの会員の皆様からご協力を頂きました。ありがとうございました。

3月中旬にご支援頂いた方々の名簿と支援金(92万4千円)を全国土地改良事業団体連合に送付しました。支援金は、被災状況に応じ当該県土連を通じて被災団体に贈呈されます。